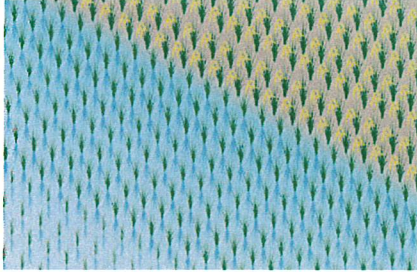


こんなシーンで使える！

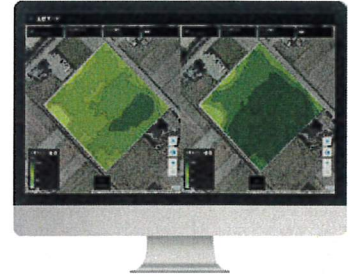
scene
01

生育診断を
効果的に行いたい



≫ **【生育マップ比較】**で解決！ [P9へ](#)

各種マップは、「分析」の「マップの比較」から並べて比較することができます。同一時期の生育マップを昨年と今年を並べて表示し、成長具合を比較することにより、圃場の生育ムラが解消できているのか確認することも可能です。



scene
02

チームで情報を共有して
栽培管理の精度を
高めたい



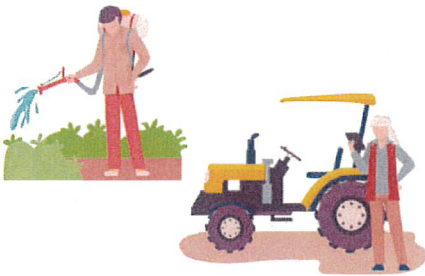
≫ **【アカウント連携】**で解決！ [P8へ](#)

施肥や防除作業の割当てを共有し、効率的な作業管理を行うことができます。例えば、農事組合法人等では従業員間で生育ステージ予測や地力マップなどを共有しながら農業経験が少ない人でも簡単に栽培管理を行うことができます。



scene
03

肥料や農薬を撒く
ベストな日を知りたい



≫ **【生育ステージ予測】**で解決！ [P10へ](#)

生育ステージ予測で幼穂形成期や出穂期など、生育の重要な時期を知ることができるので穂肥や基幹防除のタイミングを逃すことなく管理できます。また、病害アラート・雑草管理プログラムで効率的な防除が可能となります。



scene
04

天候に合わせて
作業時期を見極めたい



≫ **【天気予報・散布天気】**で解決！ [P10へ](#)

直近10日間の天気予報や、1時間ごとの降水確率などを確認できる散布天気機能で圃場のリアルタイムな天候を確認できます。稲の高温障害対策、大豆や小麦の湿害対策にもご活用頂けます。



実証データ

ザルビオの予測モデルには過去10年以上にわたる数十万点のデータが学習されています。実際の予測精度については、例えば2021年は以下のような確認を行っています。



水稻の生育予測モデル 全国190地点、35品種に対して調査

約70%が2日以内、約80%が4日以内の精度で、生育ステージを予測できたことを確認



水稻のいもち病予測モデル 全国101地点の無処理区で調査

約80%が3日以内の精度で、初発の有無とタイミングを予測できたことを確認
「実際は発病があるのにアラートが出ない」といった状況は3%以下



大豆の雑草管理プログラム 全国5地点において調査

慣行防除が防除価*55であったのに対し、ザルビオの推奨に従って管理した区では防除価83となり、慣行と比較してよりしっかりと雑草を抑制管理できることを確認

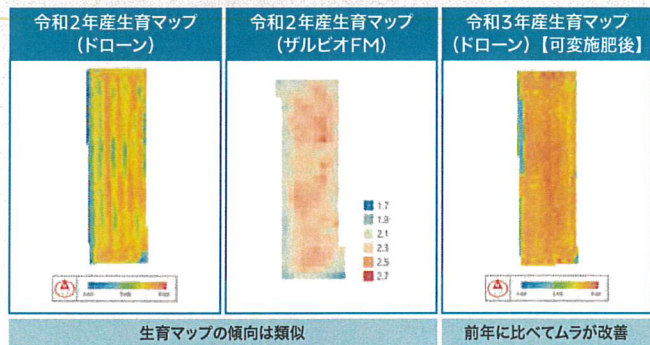
* 防除価とは、「何も除草作業を行わなかった区と比較して、除草作業を施した区が、どれだけ雑草を抑制できたか」を示す指数で、この値が大きいほどより良く雑草を抑制できたことを意味します。例えば、防除価100であれば、除草作業を施した区が完全に雑草を抑制できたこととなります。防除価は次の式によって計算されます。【防除価 = 100 - (処理区 / 無処理区) x 100】

事例

ザルビオを使った可変施肥で生育ムラが改善

鹿児島県伊佐市の実証農家様にて、ザルビオの生育マップに基づいて可変施肥マップを作成し、可変施肥対応の側条施肥田植機で基肥の可変散布を実施

●右図の通り、前年に比べて生育ムラが改善した



※ザルビオ生育マップは比較しやすいように加工しています

生産者の声



岡山県
山下 英男 さん

後継者育成には、「圃場の見える化」が欠かせません

いもち病の病害リスクを予測したアラート機能のおかげで防除のタイミングを逃さず対応できました。勘と経験を人に伝えていくのは難しいものです。したがって、後継者育成にはザルビオを活用した「データで見える圃場管理」が欠かせないと考えています。



新潟県
柳澤 兵庫 さん

データとアラートが経験値を補ってくれます

ザルビオを実際に使ってみて、**地力が数値で見える地力マップと実際の収量の分布がほぼ一致している**のには驚きました。他にも刈り取りアラートをもとに圃場を観察したところ、例年より早く水分量が少なくなってきたことが分かり収穫遅れを防げました。



山口県
河村 雅春 さん

異常気象への対応に、デジタル化は必須です

高温や多雨など、近年は異常気象が多く、天候を読んで作業計画を立てることが難しくなっています。ザルビオは、**気候データに基づいた生育ステージの予測や農薬散布に最適な日時の推奨機能などで作業計画をサポート**してくれるので、非常に助かっています。

ザルビオの機能：最初に登録するもの、基本の機能

アカウントを作成したらはじめて行ってください ※この初期設定はPCでの作業が推奨です。

圃場の登録

ザルビオを活用いただくために、まずは圃場の登録を行います。



- ▶ 衛星画像から農地の場所を識別するので、ご自身の圃場の住所を検索して選択するだけ!
- ▶ シェープファイルからの一括登録や、Z-GISからのデータインポートも可能です

登録方法

[トップ画面](#) > [圃場の登録](#)

作付の登録

栽培品種・作付時期を登録することでAIの解析が始まります。



- ▶ 品種を登録することで、それぞれの特徴に応じた生育予測やアラートをを行います。
- ▶ 作物登録は複数の圃場に対して一括で登録することも可能です。

登録方法

[各圃場のページ](#) > [作物を登録](#)

タスク(作業管理)の作成

圃場ごとに実施する作業を登録し、タスク管理を行います。

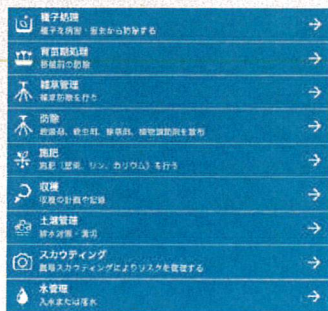
- ▶ タスク登録することで、行うべきタスクを整理していつ・何をすべきかが分かりやすくなります。

登録方法

[各圃場のページ](#) > [タスクを追加](#)

登録できるタスクの種類

- ・ 種子処理
- ・ 育苗期処理
- ・ 防除
- ・ 施肥
- ・ 土壌管理
- ・ スカウティング
- ・ 水管理
- ・ 雑草管理



アカウント連携

あなたの農場のデータをチームで共有して情報共有を行います。

- ▶ 作業員1名ずつに1アカウント作成し、アカウント連携を行うことでタスクの割り振りなどのチームでの作業管理を便利に行えます。

登録方法

※以下は子側から設定する例です。親側から設定したり、招待リンクを作成して一括処理することも可能です。

子側(連携するアカウント)の設定

① 右上のアカウント情報 から

② [紐づけるアカウント連携](#)

> [アクセスを申請](#)

③ 親アカウントのメールアドレスを入力・申請

親側(農場のオーナーアカウント)の設定

① 右上のアカウント情報 から

② [紐づけるアカウント連携](#)

> [アクセスを見る](#)

③ 表示される子アカウントの

[レビュー依頼](#) を押す

④ アクセス権限を選択し承認

選択できるアクセス権限

閲覧のみ : ステータスやタスクなどが表示のみ可能であり、編集作業はできません。

編集権限 : 閲覧権限に加えて、編集作業もできます。

管理者権限 : 編集権に加えて、アクセス権管理もできます。

圃場の記録・管理に使える機能

作期レポート出力

栽培の履歴をPDF/Excelで出力し、シーズンの振り返りを行います。

- ▶ 農協等へ提出するレポート(営農計画書など)も自動出力! 分かりやすくなります。
- ▶ 経年的にデータを蓄積することで今後の栽培計画に役立ちます

登録方法

[各圃場のページ](#) >

[...](#) をクリックしエクスポートを選択



出力したい情報を選択して [エクスポート](#)

作業メモ

各圃場での観察結果や留意事項をメモで残します。

- ▶ 圃場内でもピンポイントに場所と紐付けてメモしておけます。
- ▶ スマートフォンアプリを使えば、現地でもメモが可能です。

登録方法

[各圃場のページ](#) > [メモを追加](#)



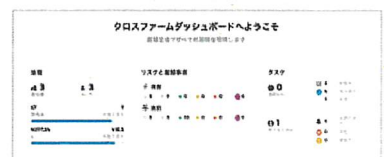
クロスファームダッシュボード

圃場やアラート通知を一覧で確認できます。

- ▶ 各圃場の情報を俯瞰して把握できるので、多くの圃場を登録されている方に便利です。

閲覧方法

[農場名](#) > [クロスファームダッシュボード](#)



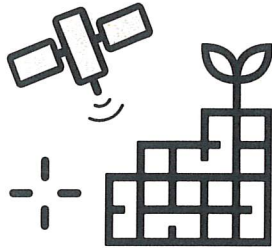
閲覧できる内容

- ▶ 栽培品種や生育ステージ
- ▶ 病害リスクや作業推奨アラート
- ▶ 登録したタスクと作業予定日
- ▶ 上記内容のマップ上での一覧表示

ガルビオの機能：衛星マップ機能

自動で更新される衛星データから、圃場の状況をリアルタイム解析

*は機能改善中です



毎日更新
(雨天を除く)
AIが自動解析

平均植生マップ(NDVI)

- ▶ 衛星画像をほぼ毎日自動で更新
- ▶ 過去に遡って確認も可能
- ▶ 異なる圃場間での同一月日で比較



生育マップ

衛星画像からほぼ毎日自動更新される生育マップ



標高・斜面マップ*

圃場の標高・斜面
斜面+標高のマップ



雑草マップ

雑草の発生状況を分類表示したマップ



地力マップ

過去の植生状況を元にした地力マップ



土壌マップ*

農研機構が公開している土壌図に基づいたマップ



播種・収量マップ

農機で得られた数値をアップロードして表示

生育マップ 葉面積指数(LAI)*で示される圃場内の生育状況をマップで表示しています。

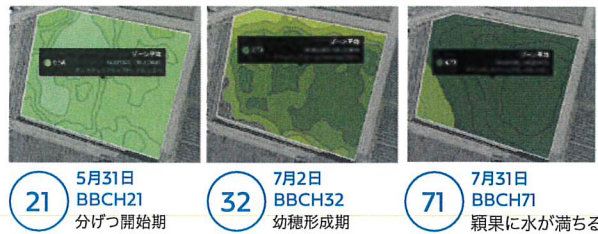
- ▶ 自動でガルビオに衛星画像から解析→マップに加工されたデータが溜まっています。特別な操作は必要ありません。
- ▶ ほぼ毎日更新されるため、リアルタイムな情報を把握できます。
- ▶ 以前に遡って確認もできるため、比較・経過確認も可能です。
- ▶ 各生育ステージの生育マップ値と、莖数・穂数等を記録して比較分析することで、有効茎歩合改善のための計画に役立てるといったことも可能です。

マップの見方

マップを確認したい **圃場のページ** > **生育** をクリック

マップは作期が終了しても保存されており確認できます。(更新はシーズン中のみ)

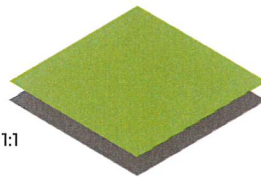
シーズン中の生育マップの変化例



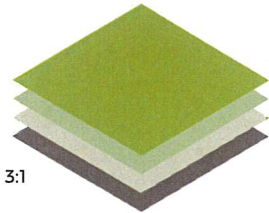
*葉面積指数(LAI)とは…
地表面積に対する葉の面積の割合を示す指数。

! LAIの数値は各作物ごとキャリブレーション(調整)がされており、同数値でも異なる状態を意味している場合があります。

LAI = 1 のとき
葉の面積 : 地表面積 = 1:1



LAI = 3 のとき
葉の面積 : 地表面積 = 3:1



地力マップ 過去15年分の衛星データから生育の傾向をAI解析し、地力を推定したマップです。

- ▶ 圃場と作物を登録するだけで過去のその土地の衛星データを解析して自動生成します。
- ▶ 地力マップから圃場内の収量ムラの傾向を特定できます。
- ▶ 地力の高い場所、低い場所を土壌分析することで精緻な施肥管理に役立てます。

マップの見方

マップを確認したい **圃場のページ** > **地力** をクリック

マップは作期が終了しても保存されており確認できます。(更新はシーズン中のみ)

! 新規圃場登録の際は、マップが生成・表示されるのに半日~1日ほどかかります。

過去15年分の圃場の衛星画像データを重層的に解析することで、地力の良い・悪いを地点ごとに判定。例年生育が良く、地力が高いとされる場所ほど濃い緑で表示されています。(写真▶)

! 地力マップで示した地力は圃場内の相対評価ですので、別の圃場で同じ色に表示されていても地力の状態は同一ではありません。



マップ分析機能

2つのマップを左右に並べて比較分析に使えます。

マップの見方

各タブから **圃場** > **マップタイプ** > **マップ日付**



【比較1】 同じ圃場の生育マップと地力マップ



【比較2】 異なる圃場の同日の生育マップ

ザルビオの機能：AI予測機能

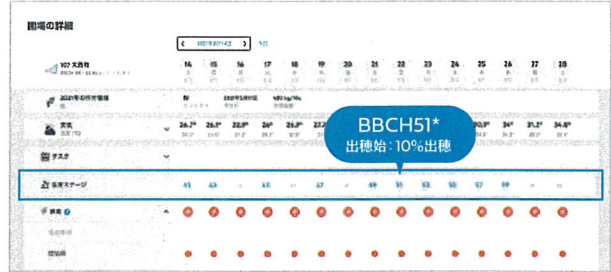
生育ステージ予測

地域・品種・天気など、さまざまな情報をAI解析してリアルタイムな生育状況を予測します。

- ▶ 作付の登録を行うと、作付日以降に自動で表示されます。
- ▶ 圃場ごとに異なる生育ステージを一覧で把握できるため、最適な作業のタイミングを逃しません。
- ▶ 直近の天候も含めて予測しているため、気候変動の中で読みづらくなっている生育把握の指標になります。
- ▶ 幼穂形成期から穂ばらみ期の穂肥管理にも役立ちます。

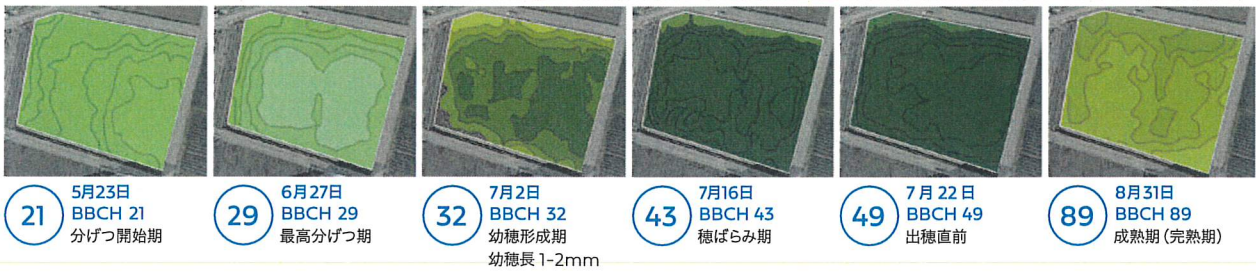
生育ステージの見方

- ▶ 現在の生育ステージ予測 [各圃場のページ](#)
- ▶ 過去に遡っての生育ステージ予測 [圃場状況](#) の右側 [詳細](#)



出穂期を予測するので、出穂前・出穂後の基幹防除にご活用いただけます。
*BBCH: 作物の生育段階を00~99の数字で示す国際的なコード

生育ステージと生育マップの移り変わり例 (静岡県・水稲)

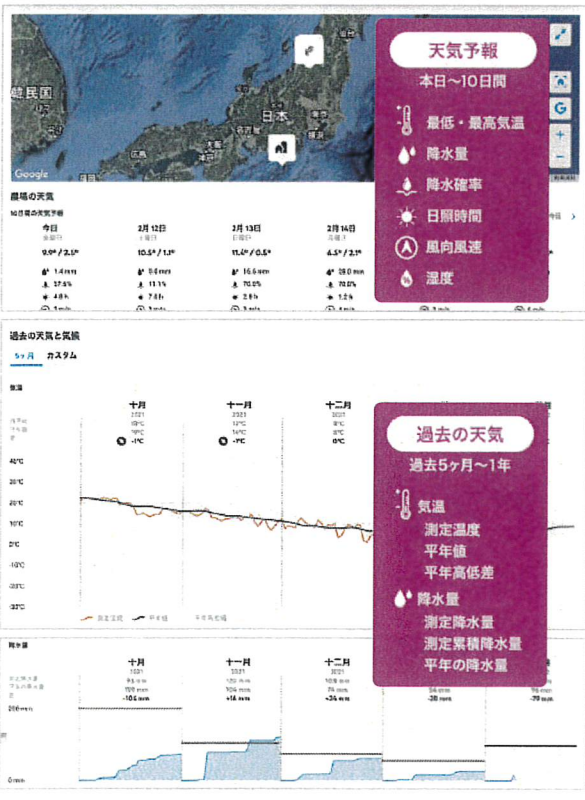


天気予報

農場および圃場の天気予報と、過去の天候の確認を行えます。

天気予報の見方

- ▶ [天気予報](#) をクリックし、各圃場ごとに見る場合は [圃場名](#) をクリック



散布天気機能

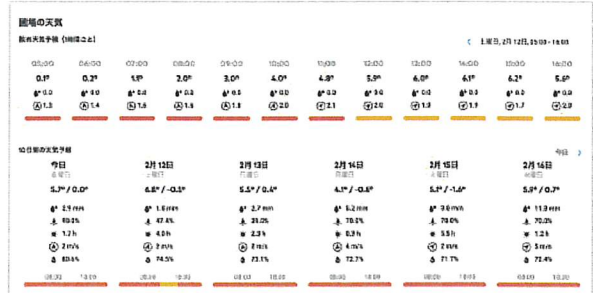
AIが降水確率や風速を分析して、農薬散布に適した日時・時間を示します。

- ▶ 1時間ごとの天気予報から推奨するため、1日の中でもどの時間帯に散布するか判断材料になります。

散布予報の見方

- ▶ [天気タブ](#) で各圃場を選択すると表示されます。

散布天気予報 (1時間ごと)



どこでも確認！
生育ステージや
天気予報・散布天気は
スマホアプリ (P16)
を使うと便利です

ガルビオの機能：作物ごとの機能

水稲向け **病害アラート** **施肥推奨アラート** **水管理推奨アラート** 病害リスクや適切な作業時期を予測してお知らせします。

- ▶ 病害アラートが出たら圃場に行って観察してください。異常気象に伴う突発的ないもち病などの早期防除に役立ちます。
- ▶ 施肥や水管理の推奨時期をアラートするため、作業モレを防止できます。

アラートの見方

- ▶ 直近5日間のアラート [各圃場のページ](#) ▶
- ▶ 過去に遡って確認したい時 [圃場状況](#) の右側 [詳細](#) ▶

圃場の詳細

2021年の作付履歴

日	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
最高気温	26.7°	26.1°	22.9°	26°	26.9°	27.7°	27.2°	27.6°	30°	31.9°	28.2°
最低気温	23.8°	23.8°	22.7°	22.8°	22.8°	21°	21.9°	21.8°	22.8°	22.8°	21°
降雨	38	59							71		75

病害

- データなし
- 予測期間外
- 低リスク
- 中リスク
- 高リスク
- ✓ 保護中

施肥

- データなし
- 予測期間外
- 施肥は不要
- 施肥は必要
- ✓ 施肥が完了

水管理

- データなし
- 予測期間外
- 水管理は必要
- ✓ 水管理が完了

大豆向け **雑草管理プログラム** 雑草の発生リスクと防除作業推奨のアラートを通知します。

- ▶ 地域ごとに発生する雑草をグループにしており、登録しやすくなっています。
- ▶ 登録内容に応じてアラートをするため、作業モレを防止できます。
- ▶ 対象雑草の最適な防除時期と作業内容を推奨します。

雑草管理プログラムを利用するには、はじめに土壌種類・散布方法・対象雑草などを設定します。

初期設定の方法

- 1 [各圃場のページ](#) ▶ [基本情報管理 \(土壌土壌\)](#)
- 2 表示される管理体系を編集するか、[推奨プログラムを取得](#) を選択
- 3 畦幅・土壌種類・散布方法・対象雑草を選択します。

- 4 選択内容から推奨の作業と作業時期・散布商品が表示されます。必要に応じて編集し、保存します。

アラートの確認方法

- ▶ [各圃場のページ](#) ▶ [アラート](#) から、推奨作業のアラートが確認できます。

▶ [圃場一覧上部](#) の [雑草管理プログラム](#) ▶ から登録内容が確認できます。

ザルビオの機能：可変施肥・可変散布、各種連携機能

可変施肥 / 散布マップ ザルビオの衛星マップを用いて可変施肥・可変散布を行うためのマップ生成を行います。

▶ ドローンによる画像撮影や画像処理は必要なく、ザルビオ上で簡単に可変マップを作ることができます。

可変施肥・可変散布マップの作成方法

- ① マップを作成したい **各圃場のページ** ▶ **タスクを追加** し、施肥 / 散布タスクを選択。
- ② 施肥 / 散布を行う日にちを選択。
- ③ 使用する肥料・薬剤を選択。※薬剤によっては可変マップに使用できないものがあります。
- ④ 散布設定を登録
散布タイプ **可変** 選択し、使用量を入力するとゾーンごとに可変量が自動計算されます。

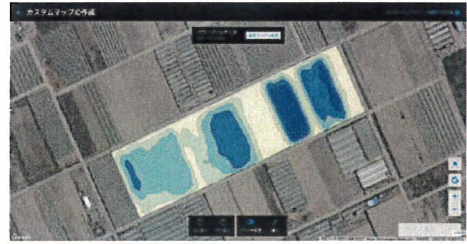


- ⑤ **マップを編集** をクリックし、ベースとなるマップを選択しゾーンのカスタマイズを行う。
- ⑥ **タスクを保存** をクリック。
- ⑦ **エクスポート** をクリックし、先ほど登録した施肥 / 散布タスクを選択。マップを **エクスポート**
- ⑧ ダウンロードした ZIP ファイルを解凍し、USB に保存。農機に読み込み施肥 / 散布を実施。



ベースとした地力マップ

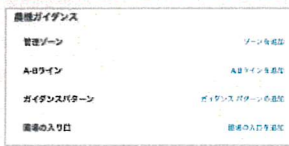
生成した可変施肥マップ



基準マップをカスタマイズ → から手動でゾーンの編集が行える

スマート農機連携 スマート農機にザルビオのファイルを読み込むことで可変施肥・可変散布が実施できます。

農機を連携する際は農機ガイダンスを事前登録する



可変施肥・可変散布に使用できることが確認できている農機

作業機	品名	メーカー	備考
ブロードキャスター	GPSナビキャスト	(株) IHI アグリテック	
側条施肥田植機	可変施肥田植機 YR8D、XVTSD	ヤンマー	直進アシスト機能付
ワイドスプレッター	RO-EDW GEOSPREAD	ビコン	ターミナル
ブームスプレイヤー	iXterB18		IsoMatch TellusPRO

Z-GIS 連携

Z-GIS とのデータ連携で登録やデータ確認を Z-GIS から行います。

- ▶ すでに Z-GIS に登録している方はスムーズに圃場登録が行えます。
- ▶ ザルビオで解析した生育ステージやリスクを Z-GIS から確認できます。

Z-GIS → ザルビオへ圃場を登録する方法

- ① Z-GIS を起動して、準備した圃場ファイル (xlsx) を読み込む
- ② xarvio シートを選択して、属性表を表示させる
- ③ 属性表から、追加したい圃場 (各行全体) を選択
- ④ ツールバー上のボタンをクリックして、xarvio ダイアログを開く
- ⑤ 「xarvio 管理に追加」スイッチを ON
- ⑥ 「同期」ボタンをクリック



スカウティング連携

ザルビオスカウティングとのデータ連携を行います。

- ▶ 圃場と関連してスカウティング内容を登録・管理できます。

ザルビオスカウティングとは

BASF が提供するスマートフォンアプリで、圃場で写真撮影を行うだけで

- ・雑草の識別
- ・病害診断
- ・葉の損傷面積の解析
- ・発芽した植物数の診断

を診断することが可能です。



スカウティング連携の方法

- ① フィールドマネージャーと同じアドレス・パスワードでスカウティングにログインし、写真を撮影
- ② **タスクを追加** からスカウティングを選択
- ③ 「既存のスカウティングをこのタスクに割り当てる」から **割り当て**
- ④ 該当の写真を選択して保存



FAQ

Q アクティベーションコードを購入したのですがいつ届きますか？

A アクティベーションコードは毎週火曜日および金曜日に発送（メール送信）されます。メールが届かない場合は迷惑メールボックスもご確認下さい。

Q プレミアムプランを購入してアクティベーションコードを入力したのですが、生育マップや地力マップが見えません。

A AIが衛星画像を分析するのに少しお時間が必要なので、半日から1日程度後に見ることができます。時間が経過しても不具合が見られるようであれば、お手数ですがカスタマーサクセスまでお問い合わせください。

Q アカウント共有した場合、有料機能の費用はどうなりますか？

A 片方のユーザーアカウントが有料機能購入済みであれば、連携先の無料アカウントから追加費用無しで有料機能を利用できます。

Q 大規模生産をしており、1アカウントで2,000圃場以上登録したいです。

A カスタマーサポートセンターにお問い合わせ下さい。リクエストをいただいた際に、その都度対応させていただきます。

Q 一度登録した圃場の形状や作付け情報を変更したり、削除できますか？

A ステータスページに入って変更したい圃場を選択頂き、「圃場名を変更」の右にある「・・・」から形状や作付け情報の変更、削除ができます。複数の圃場の作付け情報を一度に変更したい場合は、ステータスページで圃場の名前の左に表示されるチェックボックスをクリックし複数選択することで、複数の圃場の一括変更が可能です。

Q 商品リストの選択肢にない肥料を登録して可変施肥するにはどうすればいいですか？

A 商品選択に使用する肥料が表示されない場合は、カスタム商品として使用名、その成分を登録下さい。一度登録しておけば、次回以降にも選択が可能です。

Q 生育ステージ予測を過去に翻って確認する方法が分かりません。

A 生育ステージ予測は [作期終了] を登録すると閲覧できなくなるため、データを確認する間は作期終了の登録を行わずにお使いください。また、作付け日から300日が経過すると自動収穫機能により自動で作期終了するため、過去の生育ステージを確認できる期間には限りがある点にご注意ください。

Q AIによる分析の精度はどの程度ですか？

A 実際にザルピオを活用されているユーザー様の事例では、病害アラート機能を活用して「いもち病等を的確に防除できた」というお声を多数頂きます。また、収量センサー付きコンバインによる収量データと地力マップのデータがほぼ一致しており、信頼性の高さを実感するなど、精度は極めて高いです。

料金プラン

2つの圃場でフィールドマネージャーのすべての機能を無料でお試しください。
プレミアムプランなら、さらに+100の圃場ですべての機能が活用可能です。

※1,000圃場以上をご利用いただく場合は、お問い合わせください。

	ベーシックプラン	プレミアムプラン
料金	¥0	¥13,200/年額(税込)
登録可能な圃場数	1,000圃場	1,000圃場
すべての機能の利用	2圃場	100圃場

¥5,500(税込)/100圃場でプレミアム機能の圃場数追加が可能です。

	ベーシックプラン	プレミアムプラン
衛星マップの自動更新		
生育マップ		○
地力マップ		○
雑草マップ		○
播種、収量マップ	○	○
標高、斜面マップ	○	○
土壌マップ	○	○
AIによる栽培管理支援		
生育ステージ予測		○
散布天気	○	○
水稲 病害リスク予測および防除推奨アラート		○
水稲 施肥推奨アラート		○
水稲 水管理推奨アラート		○
大豆 雑草管理プログラム		○
可変散布マップ		○
可変施肥マップ		○
便利な機能		
圃場の気象情報	○	○
スマート農機連携	○	○
スカウティング連携	○	○
Z-GIS連携	○	○
圃場情報の記録・管理		
圃場と作付情報の記録管理	○	○
圃場ごとの作業メモ	○	○
作期レポートの出力	○	○
タスク計画・指示		
タスクの計画、記録	○	○
アカウント連携、タスクの割り当て	○	○
クロスファームダッシュボード	○	○

プレミアムプランの 利用方法

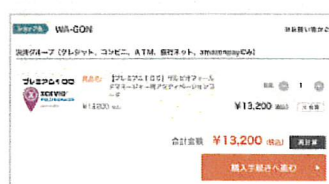
1 JAタウンにアクセス
<https://www.ja-town.com/shop/f/f0>



2 「ザルビオ」で検索



3 プレミアムプランを購入



4 ザルビオにログインし 「ショップ」へ移動



5 JAタウンより発行された アクティベーションコード を入力

※アクティベーションコードは 毎週火曜日
および金曜日に発送(メール送信)します

あなたの農場で増える手取りは？ 増収シミュレーション

MODEL 01



増収目標
+2%

私は長年にわたり土づくりに取り組んでいるので、全体的に圃場の地力は高いです。一方で、生育のバラツキが多いのが課題です。課題解決のために生育マップを活用し、可変施肥を通じた地力の均平化に取り組めます。

MODEL 02



増収目標
+5%

私は新規就農して5年目です。耕作放棄地を譲り受けたので、農作物が十分育つよう、土壌の状態を良くすることから始めています。地力は良くなる傾向にあると感じています。

MODEL 03



増収目標
+10%

私は異業種から農業に参入しました。自分の栽培技術が未熟なので、昨年は全国平均収量の8割程度でした。これからザルビオの生育ステージ予測を活用して施肥や防除の最適化に取り組めます。

昨シーズンの収量データを基に記入

上記モデルを参考に増収目標を記入

記入例

栽培作物	圃場面積 [10a]	反収 [kg/10a]	単価 [円/kg]	増収効果 [%]	収入増加見込み
米 (特選米)	250	500	200	2% (0.02)	500,000 円
					円
					円
					円
					円
					円
					円

増加見込み合計

円

MEMO

xarvioに登録後、ログインするためにはアカウント情報が必要になります。下記のアカウント情報メモは保管用として、必要に応じてご利用ください。

登録アカウント情報

メールアドレス

@

パスワード

お困りのことがあれば、下記のお問い合わせまでお気軽にご連絡ください。

080-0000-0115
フリーダイヤル/通話料無料

03-4579-5659
市外局番

営業時間 月曜～金曜 9:00～17:00
※土日祝・年末年始を除く

導入方法

PCから登録

https://fm.xarvio.com/jp/ja_jp/login

または

ザルビオ  で検索



スマートフォンアプリから登録

アプリストアからアプリをダウンロード



STEP 1

はじめての方は **無料で登録** から

- ・氏名
- ・メールアドレス
- ・電話番号

を入力してください。

登録メールアドレスに認証メールが届きます。



STEP 2

ログイン後、

圃場を追加

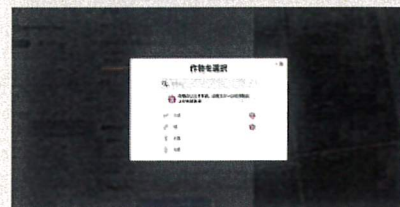
から圃場登録を行います。

ご自身の圃場を地図から選択し、名前を記入して保存します。



STEP 3

登録した圃場を選択し **作物を追加** をクリックします。



各作物の

- ・栽培品種
- ・作付方法 / 播種日
- ・予想収量

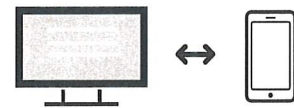
を選択します。

前作を登録し保存します。



登録したアカウントは PC・スマホアプリの両方でご利用いただけます

※動作環境 PCブラウザ：Edge、Chrome、Firefox、Safari (IE インターネットエクスプローラーには対応していません)
タブレット：iOS10.0 以上、Android5.0 以上



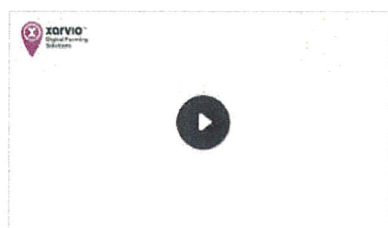
詳しい操作説明

ユーザーマニュアルはこちらからご覧いただけます

<https://www.xarvio.com/jp/ja/support/downloads/get-started.html>

(HP トップ画面 > サポート情報 > ユーザーマニュアルはこちら)

- ・動画マニュアル
- ・PDF マニュアル



お問い合わせ窓口

 japan@xarvio.info

 **080-0000-0115** フリーダイヤル
通話料無料

03-4579-5659 市外局番

営業時間 月曜—金曜 9:00—17:00

※土日祝・年末年始を除く

BASFジャパン株式会社

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 3-4-4 OVOL 日本橋ビル3階

<https://www.basf.com/jp/ja.html>

Copyright © BASF Digital Farming GmbH